

村上駅周辺まちづくり事業（大規模跡地利活用）ワークショップ実施計画書

1. 目的

- 市が示した駅周辺の大規模跡地である「村上総合病院跡地」と「ジャスコ跡地」の利活用に伴う施設案に関し、地域内外の住民等、利用者等からの意見や利活用のアイデア等を聴取すること
- 交流ゾーンにおける、施設の内容(機能等)、規模、意匠、使い方等についての意見を収集し、今後の計画策定に向けた基礎資料とすること
- サウンディング型市場調査による民間事業者との対話において、市民のアイデアを反映すること

2. 開催概要

(1) 対象者、対象校

- ① 市内の学生（村上高校・村上桜ヶ丘高校・村上中等教育学校、荒川高校、新潟リハビリテーション大学、新潟看護医療専門学校村上校）
→30名程度（各校5名程度）
- ② 市民・団体など
→20名程度

(2) 実施方法・会場

- ①、②：集合形式
- 会場：村上市田端町4番25号 村上市教育情報センター 多目的研修ルーム
TEL 0254-53-7511

(3) 実施年度、回数(予定)、開催時期

- R5～R7（複合施設の基本設計策定までとする）
 - ・ 令和5年度は①、②をそれぞれ1回実施：令和5年12月～令和6年3月の間
 - ・ 令和6年度は①、②をそれぞれ2回実施予定：時期は今後調整
- ※①、②は計3回を通した積上げ型の意見聴取を想定

(4) 実施主体

- 村上市が主催し、事務局を都市計画課が担当する
- アドバイザー：新潟県立大学 国際地域学部 榎谷圭司教授
→村上駅周辺まちづくりプラン（基本構想）策定委員会委員長
- 司会進行、ファシリテーター：エヌシーイー(株)（以下、NCE）

(5) 内容

- テーマ：村上駅周辺大規模跡地の新たな魅力と活力を生み出すためには？
 - ・ 公表した施設案を具現化または新たな視点によるアイデア案等
 - ・ 新たな魅力や活力、賑わいを生み出すために必要なもの
 - ・ 村上総合病院跡地とジャスコ跡地を一体的に利活用するためのアイデア
 - ・ 複合施設に必要なもの、望むもの(機能、規模、意匠、使い方)
 - ・ いろいろな人や物とコラボレーションするためのアイデア・・・ など

(6) 実施方法

①市内の学生および②市民、団体など（集合形式）

- i. テーブル3～4つ配置し、各テーブルに6～8名を配置。また、参加者とは別に進行役（NCE）を1名配置
- ii. 進行(NCE)に沿って、それぞれの聴取内容に対する意見、アイデアを付箋に記入し、大判表に張り付けグループごとに意見交換を実施
- iii. 意見交換の結果をとりまとめ、各グループで発表し会場全体で意見を共有
- iv. アドバイザーからのまとめ、講評 など

(7) タイムスケジュール

- ワークショップについては最大 120 分と設定してタイムスケジュールを作成

①市内の学生タイムスケジュール（第1回）

9:30	10:00	10:15	10:30	11:30	11:45	11:55	12:00
受付	開会、挨拶 オリエンテーション	概要説明	グループワーク	発表	講評	閉会	

②市民・団体などタイムスケジュール（第1回）

18:30	19:00	19:15	19:30	20:30	20:45	20:55	21:00
受付	開会、挨拶 オリエンテーション	概要説明	グループワーク	発表	講評	閉会	

(8) 作成資料（第1回）

- 説明資料
 - ・ 村上駅周辺まちづくりプラン（基本構想）
 - ・ 大規模跡地の利活用案
- 大判図
- 参加者名簿
- 座席表

(9) 成果

- 意見交換の概要を整理し、(仮称)村上駅周辺まちづくり未来創造ニュースを作成
 - ワークショップの結果等を公表（市報、web など）
-